

フォーラム富山「創薬」

設立趣意書

「クスリの富山」として、江戸時代より薬業は本県の伝統ある産業の代表であり、その後、富山大学薬学部、また富山医科薬科大学にもその伝統は受け継がれ、和漢薬研究の更なる振興にも大いに寄与して参りました。とりわけ、富山医科薬科大学は全国でも唯一の医学部と薬学部からなる大学であり、これに和漢薬研究所が有機的に関係し合い、病態から治療までを研究し、また実践する場となっております。

現在、老人及び成人病の多くで薬物療法が主体となっており、種々の合併症の予防に欠かすことができない状態であります。したがって、薬物療法は今後さらに重要な位置を占め、この意味からも「創薬」は積極的に展開すべき課題であるものと考えます。

幸い本県では、富山大学、富山県立大学、県薬事研究所などにおいても創薬に関連する研究が精力的に行われており、また現在でも薬業は地場産業の中でも大きな比重を占めております。今後、創薬という見地から、これらの施設で行われた研究成果の地元薬業界への還元や、薬業界の関心のあるテーマや要望の把握などは、さらに一層充実させていくべきことと考えます。

フォーラム富山「創薬」は、薬業界、大学及び県を有機的に結び合わせ、情報の交換及び発想の刺激となる場を提供することにより、富山県の特徴である「クスリ」の研究開発及び薬業を盛んにし、本地域の活性化を図ることはもとより、人類の福祉のために貢献することを目的としております。

具体的には、年4回程度研究会を開催し、大学各講座や研究機関での研究テーマについての基調講演とディスカッションを行うことによって、新しい薬の開発の芽を育てていこうとするものです。

何とぞ本趣旨に御賛同いただくとともに、本フォーラムの設立並びに運営に是非とも御協力願いたく、お願い申しあげる次第であります。

平成12年 1月 7日

発起人

富山医科薬科大学

富山県薬業連合会

富山県